

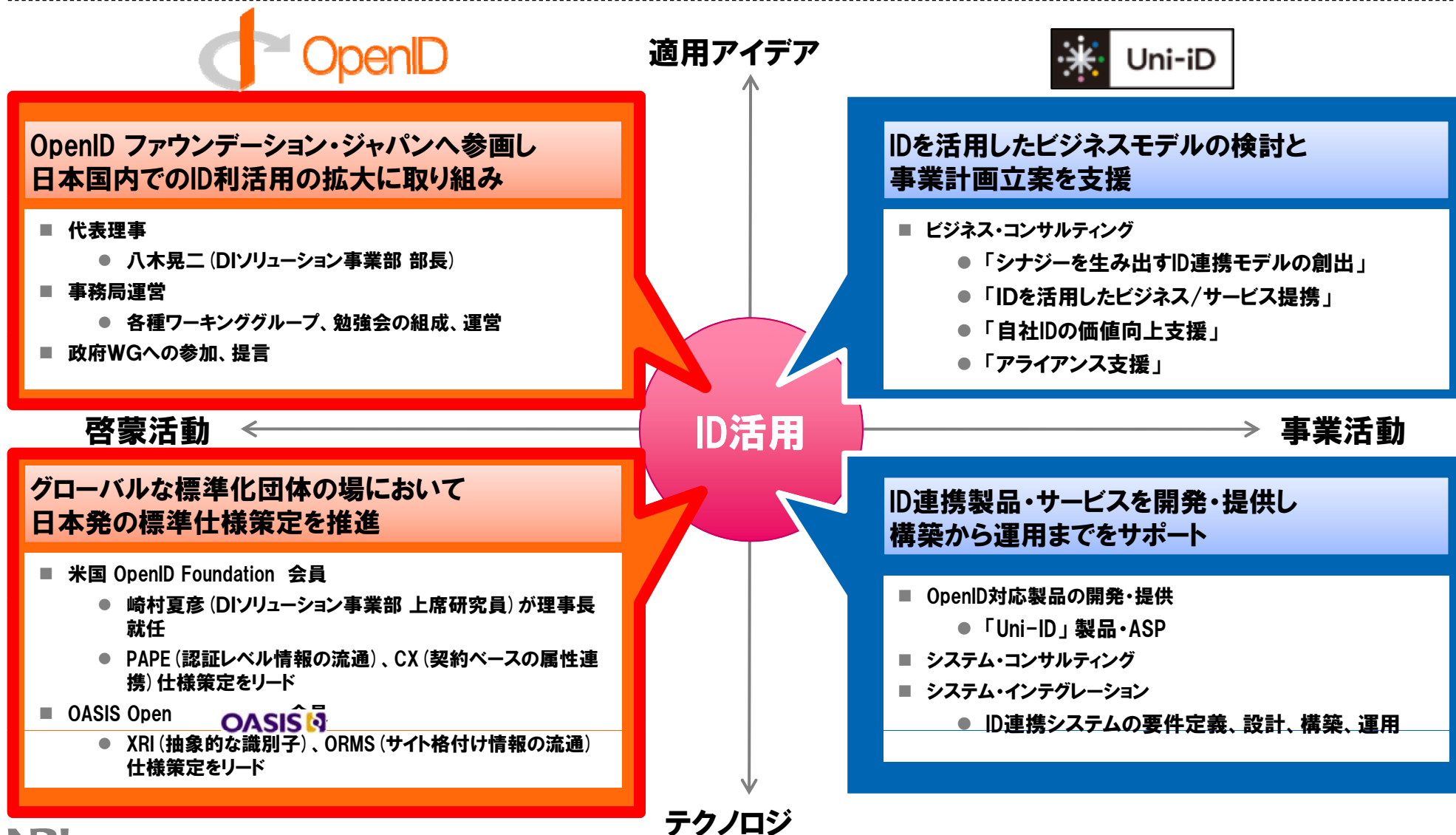
Uni-ID（ユニ・アイディ）

NRIのID連携・活用ソリューション

2011年12月1日

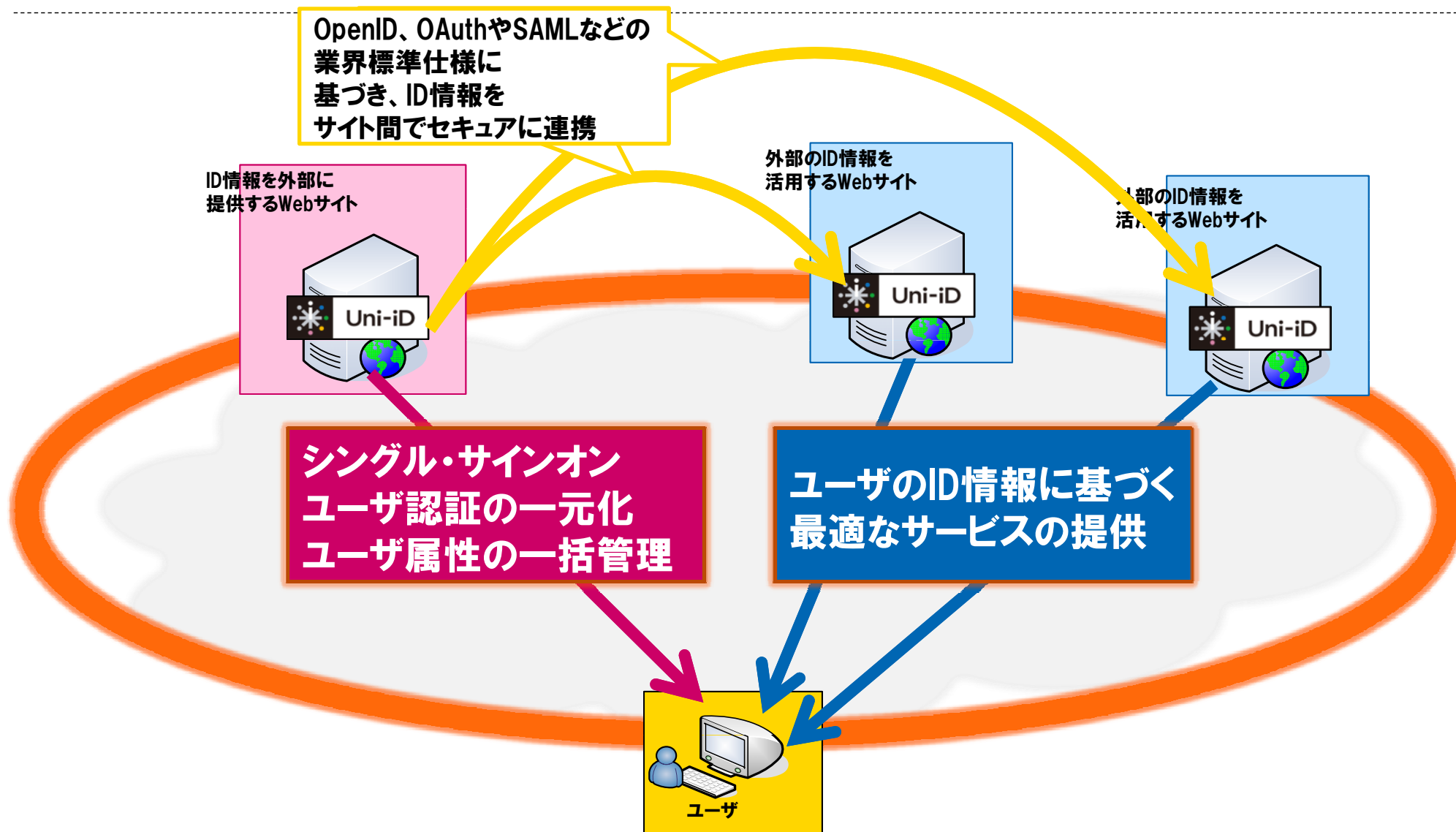
株式会社 野村総合研究所
IT基盤インテグレーション事業本部
DIソリューション事業部
柴田 健久

NRIのDI (Digital Identity) に関する取り組み



Uni-ID (ユニアイディー)

「ID連携」によってユーザ中心のサービス連携を効率的に実現するためのNRIのソリューション

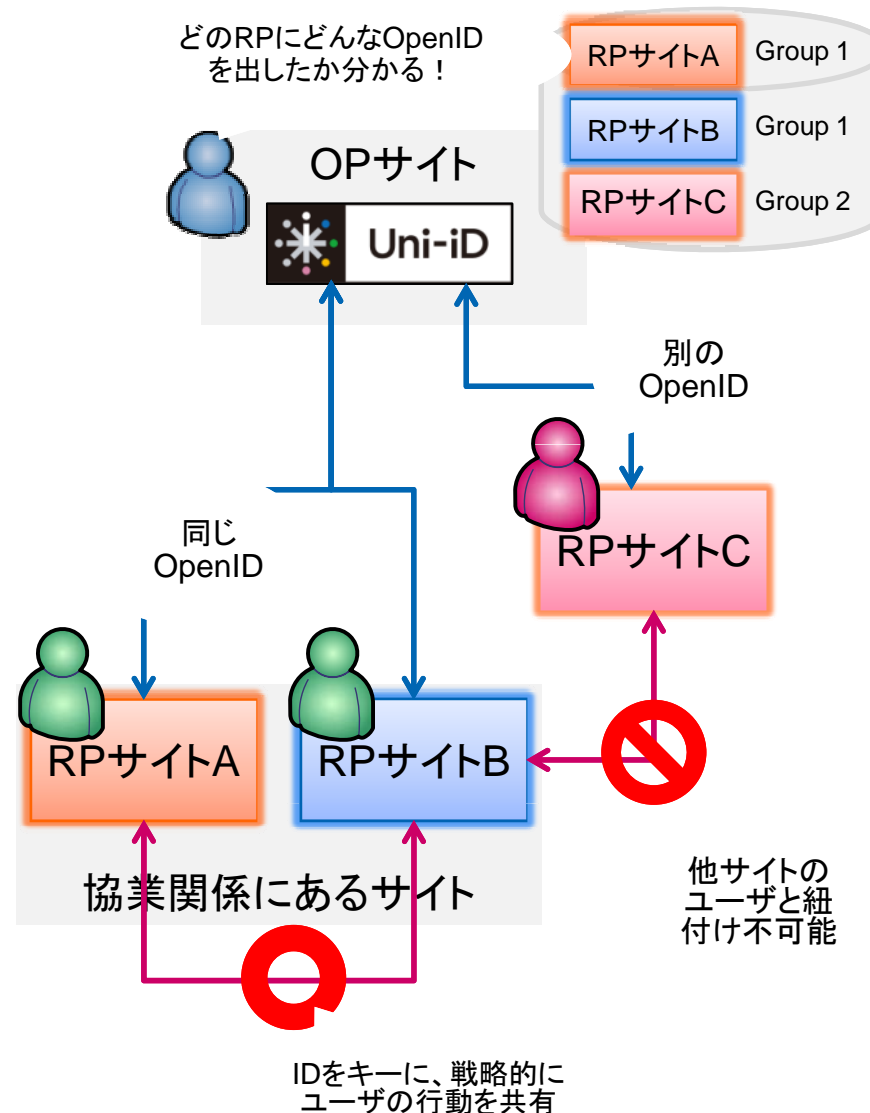


仮名払い出し

サービス連携におけるプライバシー保護に対応

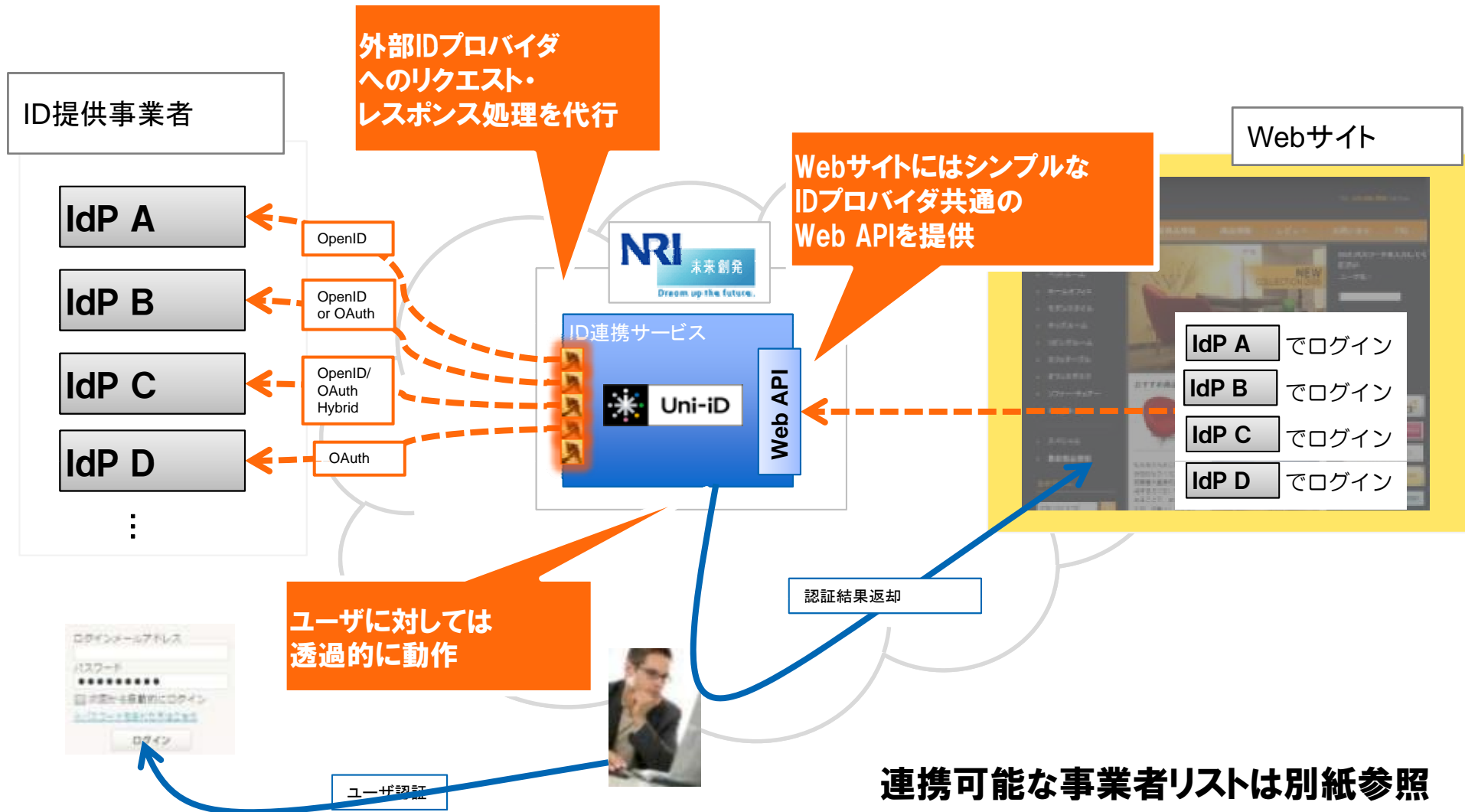
■RP毎のOpenID（仮名）払い出し

- RPの種類に応じてOpenIDを出し分け、RP間での名寄せ防止
- 複数のRPをグルーピングして同じ仮名を払い出すことも可能



Uni-ID機能紹介 RP 向け機能例

外部ID認証機能



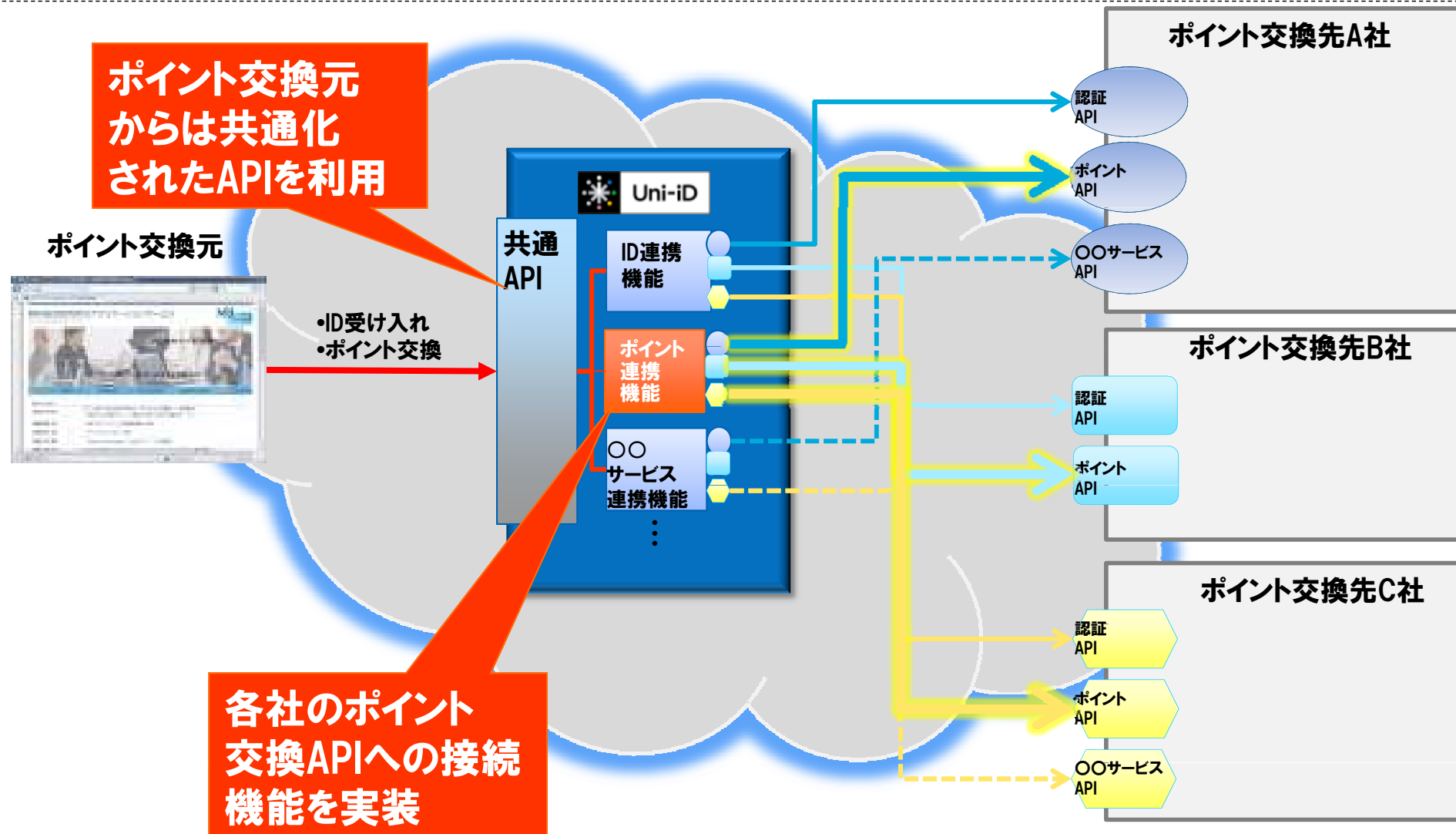
Uni-ID機能紹介

RP 向け機能例 外部ID認証機能

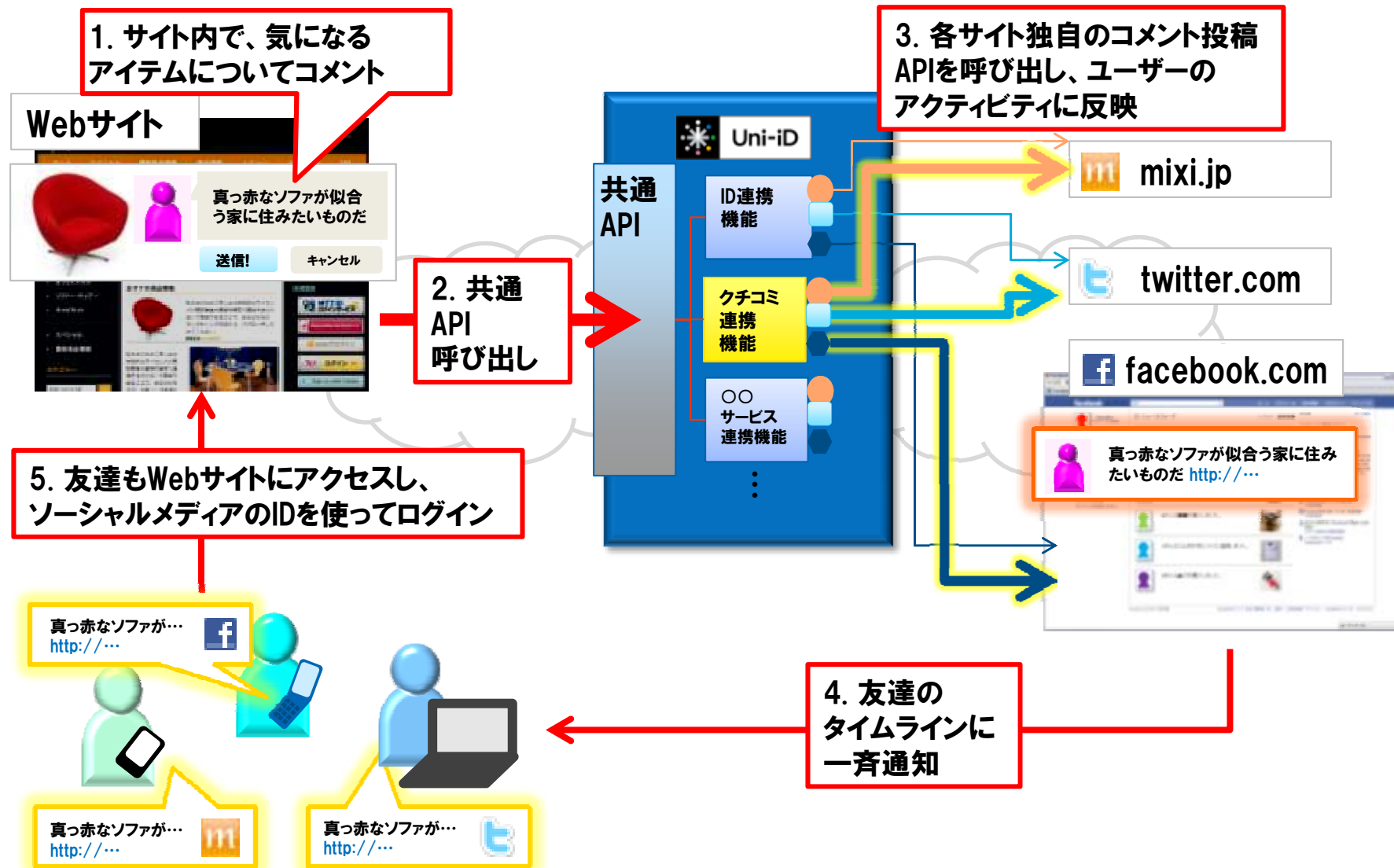
対応ID提供事業者(本日現在)

IDプロバイダ		ID情報提供プロトコル	対応
Yahoo! JAPAN	アクティブユーザー: 約2,500万ID Yahoo!プレミアム: 約770万	OpenID2.0+OAuth1.0a	○
Facebook	5.5億ユーザー(国内推定170万アクティブユーザ)	OAuth2.0(draft)	○
Twitter	1.75億ユーザー(国内推定: 約1,100万ユーザ)	OAuth1.0a	○
Google	1.7億ユーザー(Gmailアカウント数)	OpenID2.0+OAuth1.0a	○
docomo	契約者数: 約5,600万	OpenID2.0+独自API	○
OCN	約800万ユーザー	OpenID2.0	○
goo	約900万	OpenID2.0	○
mixi	会員数: 2,000万超 月間ログインユーザー数: 約1,446万人	OpenID2.0+OAuth2.0 (draft)	○
楽天	約6,700万 ※アクティブ会員: 約4,300万	OpenID2.0+独自決済	対応検討
au	契約者数: 約3,200万 ※au one IDの会員数は推定200万	OpenID2.0+独自決済	一部対応

リアルタイムポイント交換機能



ソーシャル連携機能 / クチコミ連携機能



Uni-ID機能紹介 業界標準テクノロジーへの準拠 OAuth 2.0 / OpenID Connect に対応(本日リリース)

NEWS RELEASE

ID連携・活用ソリューション「Uni-ID」をバージョンアップ
～次世代ID連携技術「OAuth 2.0」と「OpenID Connect」に準拠～

2011年12月1日
株式会社野村総合研究所

株式会社野村総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:嶋本 正、以下「NRI」)は、ユーザーのID情報を活用し各種サービスを連携するためのソリューション「Uni-ID(ユニアイディー)」の新バージョンの販売を、12月1日から開始します。

今回のバージョンアップのポイントは、サービス認可の仕様である「OAuth 2.0^{※1}」と、ID連携仕様である「OpenID Connect^{※2}」に対応した点です。インターネットを活用するサービス事業者は、自社のサービスに「Uni-ID」を導入することで、「OAuth 2.0」「OpenID Connect」に対応したID/サービス連携基盤を、既存のIT資産を活かしながら迅速かつ確実に構築することができるようになります。

【サービス認可の仕様「OAuth 2.0」とID連携仕様「OpenID Connect」に準拠】

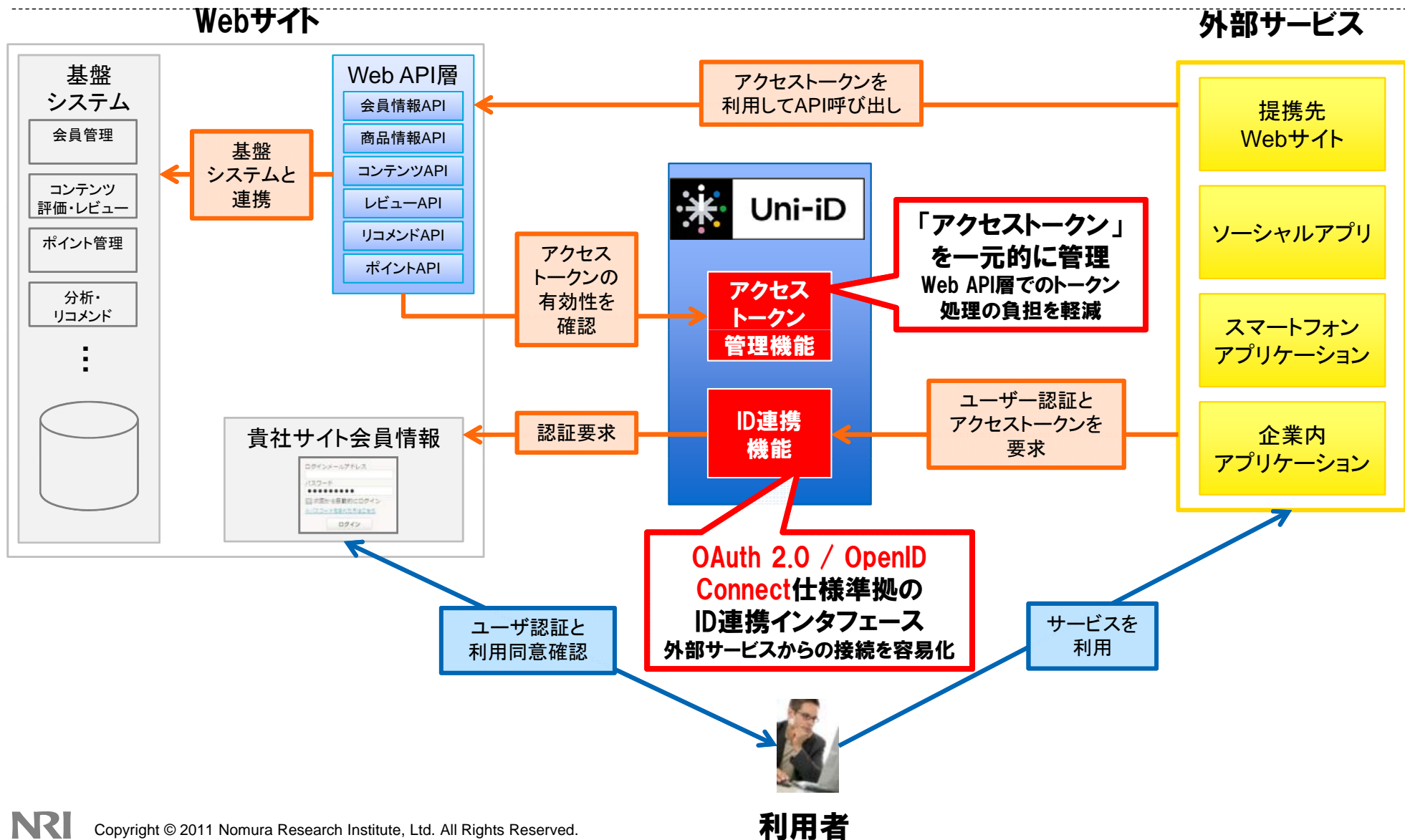
「Uni-ID」が今回のバージョンアップで対応した「OAuth 2.0」と「OpenID Connect」は、ID連携機能の標準仕様として、現在Google、Microsoft、Salesforce.com、Facebook、NRIなどが協同して策定しているものです。

OAuthは、さまざまなWebサービスを利用する際の認可方式として、ここ数年の間に広く普及してきました。OAuthには、「エンドユーザーは、サービス事業者で使っているID/パスワードを、そのサービス事業者のAPI^{※3}へアクセスするサードパーティに渡す必要がない」「サードパーティによるAPI利用の範囲をユーザーが認可することができる」という特長があります。これによりサービス事業者は、エンドユーザーの同意に基づいて、IDを活用したサービスを安全に提供できるようになりました。現在、策定過程にある「OAuth 2.0」は、「OAuth 1.0」と比べて、(1)仕様が簡略化され使いやすい (2)Webブラウザ以外のデバイスへの対応も考慮している、などのメリットがあります。

また、「OpenID Connect」は、ユーザーの同意に基づき、安全に複数のサービス間でID情報を流通するための標準仕様である「OpenID」の次期バージョンです。現在、「OAuth 2.0」をベースにした仕様策定が進められており、「OAuth 2.0」の使いやすさと拡張性はそのままに、サービスの認可に加えてID連携機能(属性交換、ログインセッション管理、本人確認レベルの扱いなど)を強化した仕様となっています。

本日提供を開始する「Uni-ID」の新バージョンでは、上記の「OAuth 2.0」「OpenID Connect」の対応を行うことにより、Web API^{※3}のアクセス認可機能と、認証結果や属性情報の提供機能が、従来バージョンに比較してより使いやすくなり

Uni-IDの実現機能 業界標準テクノロジーへの準拠 OAuth 2.0 / OpenID Connect を活用した 「ID 対応 Web API」化



民間事例: 日本経済新聞社 「日経ID」により各種サービスを連携

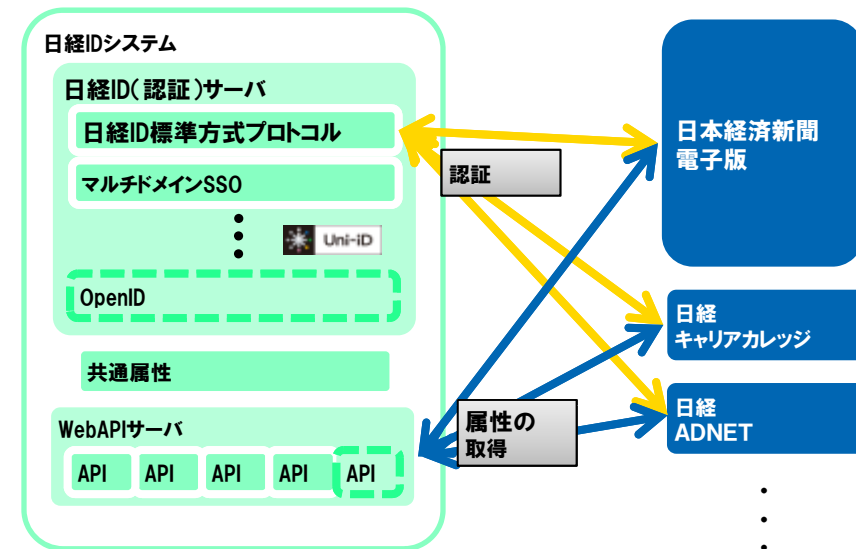
日本経済新聞

NIKKEI

2010年3月23日よりスタートした日本経済新聞 電子版。

パソコンでも携帯電話でも、確かな情報とデータ、最新の映像をいつでも閲覧できる新しいメディアとして登場した「日本経済新聞 電子版」。読者本位で情報を整理し、新聞の新しい読み方を提案していきます。

日本経済新聞社の各種サイトのID統合にOpenIDをベースとした
プロトコルを採用し、ユーザ認証の一元化と属性情報の連携を実現



民間事例：JCB×Yahoo! JCB→Yahoo!へのリアルタイムポイント交換

NEWS RELEASE

野村総合研究所の「Uni-ID RP Express」が、
JCB「Oki Dokiポイント」のリアルタイム交換サービスの基盤に採用される
～クレジットカード業界初、Yahoo!ポイントとの即時交換から開始～

2011年7月13日
株式会社野村総合研究所

株式会社野村総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:嶋本 正、以下「NRI」)は、株式会社ジェーシーシー(本社:東京都港区、代表取締役兼執行役員社長:川西 孝雄、以下「JCB」)が提供するポイントプログラム「Oki Dokiポイント^{※1}」の新サービスである「即時ポイント移行完了コース^{※2}」の基盤として、「Uni-ID RP Express(ユニアイディー・アールピー・エクスプレス)^{※3}」を提供します。

近年、多くの消費者は、購入する商品の決定や店舗を選択する決め手として、ポイントの付与を重視する傾向にあります。NRIの調査によると、ポイントプログラムは消費者の5割以上の消費行動に影響を与えており^{※4}、消費者と接する事業者にとっての重要なマーケティングツールとして、より魅力的で価値の高いサービスの提供が求められています。

この度NRIが構築支援をし、本日より開始されたJCBの「即時ポイント移行完了コース」は、「使いたいときにすぐに交換し、ショッピングに利用したい」という顧客ニーズに応えたリアルタイムのポイント交換サービスです。リリース時点では、ヤフー株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 井上 雅博、以下「Yahoo! JAPAN」)が提供する「Yahoo!ポイント^{※5}」との即時交換が実現します。なお、オンライン上で、クレジットカード会社が発行するポイントを他事業者のポイントへ即時に交換できるサービスは業界で初めてのものです。

ポイントの即時交換サービスを実現するためには、本来であればJCB側のシステムにYahoo! JAPANとの接続機能を追加する必要があるため、その前提となるYahoo! JAPAN IDの受け入れや、接続インターフェースの仕様変更などが不可欠です。また、今後の提携企業の拡大等を想定した外部インターフェース接続機能の共通化なども必要です。

今回のシステム構築にあたっては、「Uni-ID RP Express」が提供する「外部ID受入機能」「ポイント連携機能」を活用することにより、本来考慮しなければならぬ、提携企業間のシステムインターフェースの違いを吸収・共通化することにより、システム改修の極小化を実現し、構築期間を大幅に短縮しつつ、安全かつスムーズなポイント交換を可能にしました。

NRIは、今後もJCBのさらなるサービス拡充をご支援するとともに、インターネット上のあらゆる利用者にとって、安心・安全で利便なサービスを楽しむプラットフォームの構築を目指し、サービスを提供していきます。

The screenshot shows the JCB website with a prominent banner that reads "Oki DokiポイントをYahoo!ポイントへ即時に交換できるサービスを開始!" (Start of the service to immediately exchange Oki Doki Points to Yahoo! Points!). Below the banner, there is a section titled "即時ポイント移行完了コースとは" (What is the Instant Point Transfer Completion Course?). The text explains that upon completion of the transfer, the points are immediately available for use. It also includes a note that users must be members of the MyJCB (MyJourney) service to use the exchange service. A link to the "即時ポイント移行完了コースのご案内" (Information about the Instant Point Transfer Completion Course) is provided.

JCB様Webページより

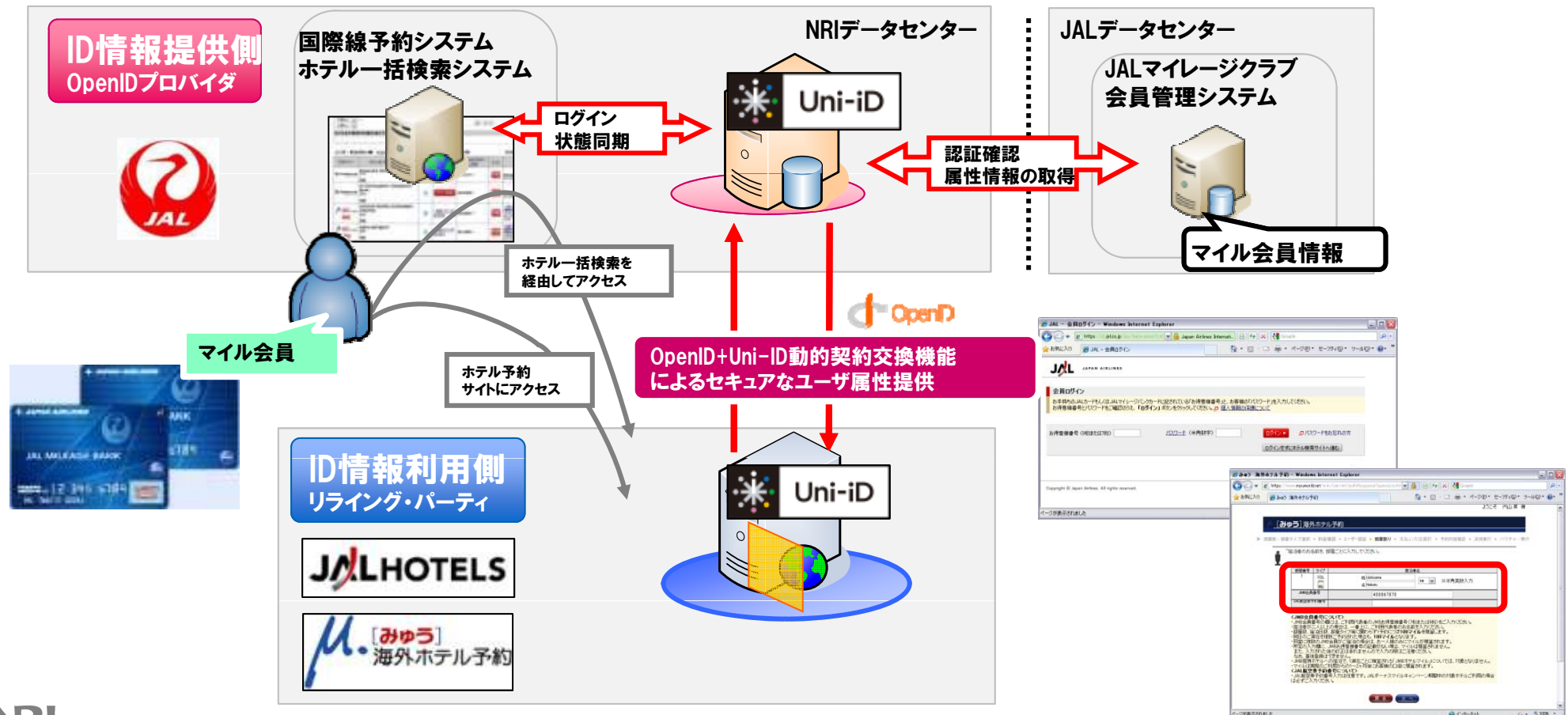
This advertisement features a yellow and green color scheme. At the top, it says "Yahoo!ポイントとOki Dokiポイントの即時交換サービス" (Instant exchange service between Yahoo! Points and Oki Doki Points). The main headline is "JCBのOki DokiポイントをYahoo!ポイントに即時交換できます!" (You can immediately exchange JCB's Oki Doki Points to Yahoo! Points!). Below this, it highlights a benefit: "さらに Yahoo!プレミアム会員なら交換レートがお得!" (Additionally, Yahoo! Premium members get a better exchange rate!). A central graphic shows the exchange rates: "Yahoo!プレミアム会員の方" (Yahoo! Premium members) receive 2,500 Oki Doki Points for 500 Yahoo! Points, and "Yahoo! JAPAN IDをお持ちの方" (Those with Yahoo! JAPAN ID) receive 2,250 Oki Doki Points for 500 Yahoo! Points. A large "交換する" (Exchange) button is at the bottom. On the right, there is a small box titled "Oki Dokiポイントとは?" (What is Oki Doki Points?) and another titled "Yahoo!プレミアム会員とは?" (What is a Yahoo! Premium member?).

Yahoo! 様Webページより

民間事例: 日本航空

「宿泊代理店へマイレージ会員の属性連携」

- ホテル予約サイトでの情報入力の煩雑さに起因する、ユーザの途中離脱率を低減
- JALからホテルサイトへのトランザクション増加(約170%増)



お問い合わせお待ちしております。

株式会社野村総合研究所 IDソリューション事業部

〒105-7113
東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

03-6274-1460

uni-id@nri.co.jp

<http://uni-id.nri.co.jp/>

